

H160		地方財政論	
英名科目名	Local Public Finance		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL : 075 - 645 - 7891 FAX : 075 - 643 - 5021		
担当教員	只友 景士		
開講期間	2021年09月21日(火)～2022年01月18日(火) 1講時 09時15分～10時45分(毎週火曜日)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	火曜日 1講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	深草学舎		
授業定員			
単位互換生定員	50	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点(20%) manabaへのアクセス状況、小テストへの取り組みなど、授業への参加状況、学びへの積極性を総合的に評価します。 ・小テスト(30%) 地方財政論の基礎知識を習得していること、地方財政制度についての知識を習得していることなどを小テストの評価基準とします。 ・レポート(50%) 期中レポート(20点)の評価基準は、地方財政論での学びを活かして、「公共政策を分析し、考える力」を評価基準とします。期末レポート(30点)は、到達目標で示していることを評価基準とします。 <p>毎回の講義で、responを使って、講義の視聴確認、質問、授業の感想などを受付、平常点の評価の基礎資料にします。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円(単位互換履修生は不要)		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 適宜、教科書及び配付資料の予習・復習を指示する。</p> <p>【履修上の注意】 講義中は、配付資料に直接書き込むなどのメモだけでなく、ノートを必ずとりましょう。ノートは、「コーネルメソッドノート」を推奨します。ノートの取り方など講義中に適宜指示します。講義中の私語は厳禁ですが、講義中の議論には積極的に参加してください。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 オフィスアワーは、金曜日3講時(13時15分から14時45分)。予約は不要ですが、2021年度は、対面面談だけではなく、オンライン面談も可としますので、面談調整の必要も有りますので、事前に電子メール(tadatomo@policy.ryukoku.ac.jp)まで連絡してください。 下記のURLにアクセスしてください。 https://meet.google.com/hpa-zrdo-yzp</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 2020年新型コロナウイルス感染症拡大により、世界と日本は大きく傷ついていた。この大きく傷ついた世界、日本、そして地域社会を再生する公共政策が求められている今こそ、経世家の学問が必要であり、この地方財政論は、経世家の学問として講義する。経世</p>		

家とは、「自分の所属する社会をより良きものにしようとする情熱を持ち、これを実践に移そうとする人々」のことであり、そうした人々に学んで欲しい講義を行います。

現代の日本は、少子化が進み、人口減少が進んでいる。「消滅自治体」などとショッキングな言葉を使って、地方に恐怖を与える言説は、ますます説得力を持ちつつある。政府は、地方創生を掲げ、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京一極集中の是正を図ろうとしているが、東京一極集中は止まりそうにない。しかし、地方財政は地方創生に動員され、自治体間の競争が展開されている。さて、地方財政は、地方を幸せにすることができているだろうか。地方創生の時代の地方財政を地方を救う財政に編成替えることは可能だろうか。そんな問題意識のもとで本講義を展開する。

地方財政論は、財政学の一分野であり、地方公共団体の経済活動を対象領域としている。財政活動は国民経済の中で大きな比重を占めており、地方分権化の時代において、地方財政のあり方は私たちの生活に大きな影響を与えている。本講義では、日本の地方財政を素材に、地方財政システムを分析する理論と手法の基礎を講義する。地方分権、地方自治をキーワードに持続可能な地域社会を支える地方財政のあり方を検討していきたい。

【講義方法】

2021年度は、対面での授業になります。指定教科書と配付資料を使いながら講義を進めます。具体的なテーマについて、講義中のクラス内での議論も交えながら、知識と考える力の養成を進めます。

【到達目標】

- ・我が国の地方財政制度を素材にして、地方分権・地方自治の時代に相応しい財政上の地方自治を支える地方財政制度の在るべき姿について考察することの出来るようになる。
- ・我が国の地方財政制度に関する基礎知識を習得し、公務員試験等で問われる水準の知識を身につけることができる。
- ・地方財政問題を財政学・地方財政論の知識を使って考察することができる。

講義スケジュール

- 第01回：地方財政論への招待
公共財、租税、フリーライダー、市場の失敗、共同体の失敗
- 第02回：現代日本地方財政の現状
集権的分散システム、地方自治、不均等発展、地域問題
- 第03回：グローバル化と地方分権
均衡論的地域経済成長モデル、グローバル国家論
- 第04回：地方経費論(1) 地域共同需要、地方経費分析 地域共同需要、地方経費、公共性、目的別分類、性質別分類、公共事業偏重型財政運営
- 第05回：地方経費論(2) 経費負担論、地方経費の二重性、地域共同需要の充足の社会システム
財政連邦主義、シャープ勧告、利害関係基準
- 第06回：国と地方の財政関係(1) 特定補助金と一般補助金
特定補助金、一般補助金
- 第07回：国と地方の財政関係(2) 国庫支出金その1
国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金、財源統制、事務統制
- 第08回：国と地方の財政関係(3) 国庫支出金その2
超過負担問題、利害関係基準、行政責任の明確化、
- 第09回：国と地方の財政関係(4) 地方交付税交付金
財政調整機能、財源保障機能
- 第10回：国と地方の財政関係(5) 地方交付税交付金の意義と問題点
地方交付税の補助金化問題
- 第11回：地方債制度と地方交付税制度 許可制、事前協議制
- 第12回：地方税制度の現状と課題(1) 地方税制度、課税自主権
- 第13回：地方税制度の現状と課題(2) シャープ勧告、地方自治、地方税の国際比較
- 第14回：地方公営企業・第三セクターの経営財政問題
- 第15回：シティズンシップと地方財政

教科書

神野直彦・小西砂千夫
『日本の地方財政』(有斐閣)
テキストは必ず購入してください。

参考書

神野直彦 『地域再生の経済学』(中央公論)
講義の中で適宜指示します。『日本の地方財政』は指定テキストです。